料理で深める親子の絆

親子で料理とスイーツ教室

8月6日、働く女性の家で「親子で料理とスイーツ教室」が行われました。参加した親子6組が、“サンドイッチ”“南瓜のケーキ”“ヨーグルトゼリー”作りに挑戦。エプロン姿の子どもたちとお母さんが、包丁を使って具材を切ったり、ボールに入れた具材を混ぜたりと、親子のふれあいを楽しみながら調理をしました。最後に、出来たての料理をいただくと、教室には「おいしい!」の声が響きました。

い お母さんと一緒に包丁にチャレンジ ろ 鍋の具合は大丈夫かな? は ケーキの生地を型に入れるの楽しいね に 親子で一緒に作った料理の味は格別です!

手作りでかわいい 鳥のアクセサリー

バードクラフトづくり

8月20日、雪入ふれあいの里公園で「バードクラフトづくり」が行われました。参加者は7人。作成したのは、鳥のアクセサリー。木でできた鳥の型にアクリル絵の具で色を塗り、マグネットやストラップなどを付けてオリジナルの作品に仕上げました。参加者からは「鳥が好きなので、色を塗るのがとても楽しかった」との感想がありました。

↑鳥のアクセサリーづくりを楽しむ親子

苦手な水泳を“無理なく”克服

ジュニアスイミング教室

↓水にもすっかり慣れて水中カメラにピースサインで応える子どもたち

7月28日、B&G海洋センタープールで「ジュニアスイミング教室」が開講しました(全5回)。 参加者は48人。教室では、市スポーツ推進委員などの指導のもと、参加者のレベルに応じた水慣れから泳ぎの基本動作などを学びました。参加者からは「プールに行くのが楽しくなった」「ビートバンなしで25㍍に挑戦します」との感想がありました。

今月のスマイル

若年層の政治参加を促すために

高校生による投票立会人および選挙啓発活動

↓選挙啓発活動ボランティアとして啓発品を配布し投票を呼び掛ける生徒

8月27日に執行された茨城県知事選挙において、市選挙管理委員会が、市内在住の高校生を期日前投票所の立会人(9人)や選挙啓発活動ボランティア(8人)に選任。若い世代の政治や選挙への関心を高めようと選任したもので、啓発活動では、有権者に啓発品を手渡しながら、投票率向上のため笑顔で投票を呼び掛けました。

人の暮らしをサポートするロボット

かすみがうら子ども大学(前期)

8月12日、あじさい館で「かすみがうら子ども大学(前期)」が行われました(全4回)。参加者は28人。3回目となる今回は、“ロボットライフで輝く未来の世の中へ”をテーマに、専門家から人間の生活を支えるロボット開発の現状などについて講義を聞いたり、立ち乗り型モビリティロボットを体験試乗。皆さん楽しく学習しているようでした。

↑立ち乗り型モビリティロボットを体験試乗する子どもたち

赤十字奉仕団が誕生しました

赤十字奉仕団結団式並びに設立総会

↓日本赤十字社茨城県支部 深谷一広 事務局長(左)より奉仕団旗を授与される 斉藤二三子 委員長(右)

8月25日、あじさい館で「赤十字奉仕団結団式並びに設立総会」が行われました。赤十字の人道・博愛の精神に基づき明るく住みよい社会を築き上げていくための事業に奉仕することを目的に、本市の地域女性団体連絡会が母体となり設立されたもので、日常の奉仕活動や非常災害時における救護活動などでの活躍が、今後期待されます。

腹式呼吸をマスターし 豊かな音色を

塩ビ管でできる!健康かんたん尺八

7月19日、あじさい館で「塩ビ管でできる!健康かんたん尺八」の最終回が行われました(全6回)。塩ビ管の尺八といっても、音は竹でできた本物にひけを取りません。参加者は、より良い音を出すために呼吸筋のストレッチなどを入念に行い、腹式呼吸を意識しながら馴染みの曲を練習。「きちんと音が出るようになってよかった」との感想がありました。

↑真剣な面持ちで練習をする参加者